

令和4年度

社会福祉法人海田町社会福祉協議会

事業計画 及び 収支予算書

~~(案)~~

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人海田町社会福祉協議会

令和4年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会事業計画

基本方針

国は、地域共生社会の実現に向け、令和3年4月から引きこもりや介護・貧困といった複合的な課題に一体的に対応できるよう新たな事業（重層的支援体制整備事業）を創設しました。また、より深刻さを増している孤独・孤立の問題に対応するため、同年12月「孤独・孤立対策の重点計画」を策定しました。

海田町においては、こうした国の動き等を踏まえつつ、第3次海田町地域福祉計画に基づき地域共生社会推進に向けた事業等を進めることとされています。また、引き続き新型コロナウイルス感染症対策、災害に強いまちづくりを目指した防災・減災への取組や子育て支援など、各種の事業に取り組むこととされています。

海田町社会福祉協議会においても、地域共生社会の実現に向けて、地域の困りごとを早期発見できるシステムと地域課題を地域で解決できる仕組みづくりを進めていくと同時に、それを担う人材育成もあわせて行います。

また、コロナ禍で地域のつながりも希薄化する中、高齢者・障がい者・生活困窮者等の孤独・孤立対策についての施策として、当事者や家族が様々な困りごとを相談できる体制づくりや、つながりが実感できる参加支援について、町や関係機関との連携を強化し、協働体制を構築してまいります。

福祉センターにおいては、指定管理者として引き続き感染防止対策を徹底し、安心安全でつながりの感じられる施設の管理運営を行います。

さらに、本年度策定した「海田町地域福祉活動計画（令和4～6年度）」に基づき、地域住民や関係機関等が相互協力し、地域生活課題の解決を目指していけるよう今後の事業展開に努めてまいります。

重点的な取組

1 つながりとふれあいのある地域づくり

(1) 地域活動によるつながりを強める

☆ふれあいいきいきサロン事業の充実

応援冊子（出前講座・貸出物品・取組事例等を掲載）の作成・配布や訪問を行う等により、事業の充実に向けた支援を行います。

☆見守り訪問活動推進事業の充実

見守り訪問活動あんしんガイドの活用や助言等を行うとともに、民生委員児童委員等との連携を一層進め、継続的かつ円滑な活動を支援します。

■ ☆地域支え合い活動支援のあり方検討

地域生活課題の解決に取り組もうとする自治会等の主体的かつ多様な活動を応援するため、助成金の交付等支援のあり方を検討します。

(2) 地域福祉活動の担い手の確保・育成を進める

☆ボランティア人間塾の新展開

年間テーマを「地域共生社会」とし、多様な団体・個人から様々な切り口でつながり方等について情報提供や助言をいただき、ボランティア活動のきっかけづくりや地域福祉への関心を高めます。

(3) 支え合いのネットワークづくりを進める

☆福祉委員会の内容充実

福祉委員同士のネットワークを活かし、ふれあいいきいきサロン事業や見守り訪問活動が一層活発になるよう、福祉委員会における情報交換・交流や研修内容の充実を図ります。

■ ☆小規模社会福祉法人ネットワークづくり

各法人の強みを活かし協力・連携して対応することにより、複雑かつ多様化する地域生活課題の発見や情報共有を図り、課題の解決につなげていきます。

2 みんなが安心して暮らせる地域づくり

(1) 高齢者、障がい者などへの社会的支援を充実する

☒ ☆権利擁護事業の充実

認知症高齢者の増加等に対応するため、福祉サービス利用援助事業（かけはし）の充実を図るとともに、法人後見事業の立上げ、中核機関の設置に向けた取組を進めます。

☆障害者相談支援センターの運営

障がいに関する様々な相談に応じるとともに、個々のニーズに沿ったサービスを利用するための計画を作成します。

(2) 孤独・孤立化している人への支援を充実する

権利擁護事業の充実や見守り訪問活動、緊急小口資金や総合支援資金等の貸付、相談窓口の運営等のほか、緊急一時食品提供事業や地域食堂への支援など、孤独・孤立化している人への支援を充実します。

(3) 地域の防災対策を充実する

平成30年豪雨災害時における経験を活かし、被災者生活サポートボラネット推進マニュアルの改訂や災害ボランティア事前登録制度の導入等を行い、災害ボランティアの育成と地域住民の防災意識の高揚を図ります。

3 支え合いの輪を広げる仕組みづくり

(1) 福祉教育・学習を進める

あらゆる機会を通じた福祉の啓発、地域や学校における福祉学習を推進するとともに、専門性の高い福祉人材を育てます。

(2) ボランティア活動の活性化

ボランティア活動のすそ野を広げるため、個人・学生・企業ボランティアの募集・登録を進めます。

(3) 分かりやすい情報の発信

☒ ☆ SNS を活用した情報発信・交流を行います。

☒ ☆ 海田町社協活動紹介冊子の作成・配布を行います。

主な取組

(1) 当事者・家族の組織化・支援

① 高齢者

- ふれあいいいきサロンや見守り訪問活動の充実・発展を図る。
 - ◇ふれあい上映会等ボランティアグループの活用促進
 - ◇貸出物品の利用促進，出前講座の実施・啓発
 - ◇活動助成金の交付
- 一人暮らし及び高齢者世帯等の在宅生活を支援するため，必要な各種サービス・事業を実施する。
 - ◇介護器具貸出サービス事業の実施
 - ◇福祉車両貸出サービス事業の実施
 - ◇訪問理美容サービス事業の実施
 - ◇寝具洗濯乾燥消毒サービス事業の実施
 - ◇福祉サービス利用援助事業（かけはし）の実施
 - ◇手作り弁当を囲んだ交流会の開催
- 様々なニーズに対応する支援・研修等を行う。
 - ◇介護者の集いの実施
 - ◇公開医療講座の開催
- 健康づくりや介護予防に取り組み，生きがい対策を行う。
 - ◇世代間交流事業の実施
 - ◇高齢者教養健康講座の開催
 - ◇さわやか大学の開催
 - ◇水中健康教室の開催
 - ◇健康相談の実施

② 障がい者（児）

- 障害者相談支援センターを通じ，本人・家族等の要望に応じた支援ができるよう相談体制を充実する。
 - ◇障がい者（児）や家族への相談対応，福祉サービスの情報提供及び利用調整
 - ◇障がい者（児）に対するサービス利用計画作成・モニタリングの実施，サービス担当者会議の開催

○ 障がい者（児）の在宅生活を支援するため、必要な各種サービス・事業を実施する。

◇介護器具貸出サービス事業の実施

◇福祉車両貸出サービス事業の実施

◇訪問理美容サービス事業の実施

◇福祉サービス利用援助事業（かけはし）の実施

◇手話奉仕員養成事業の実施

③ 児童・青少年・ひとり親家庭等

○ 福祉教育推進校等による体験学習を通じて、福祉の心を育てるとともに、高齢者や障がい者とのふれあいを大切に、ボランティア活動を通じて社会の一員としての自覚と相互扶助の精神を育成する。

◇福祉教育推進校の指定（公立小・中学校 計6校）

◇小・中学校，専門学校等への体験学習の出前

◇手作り弁当を囲んだ交流会の開催

◇世代間交流事業の実施

◇ボランティア人間塾「しあわせ探検コース（小学生対象）」の開催

◇交通遺児就学奨励金給付事業の実施

◇高等学校・専門学校との連携協働事業（ボランティア活動・福祉授業）

④ 生活困窮者

○ 生活困窮者（世帯）等に対し、生活の自立を図ることを目的とし貸付等を行う。

◇生活福祉資金貸付事業の実施（緊急小口資金・総合支援資金）

◇高額療養費貸付事業の実施

◇善意銀行の実施

◇法外援護の実施

㊦◇緊急一時食品提供事業

○ 様々な困りごとに対する相談対応を行う。

◇福祉なんでも相談窓口の開設

◇心配ごと相談事業の実施

㊦◇地域食堂への支援

(2)地域住民の啓発と組織化

① ボランティア育成

- 障がいや防災等をテーマとしたボランティア講座を開催し、福祉ニーズに対応できるボランティアの育成に努める。
 - ◇ボランティア人間塾の開催
- ボランティア（グループ・個人）の育成に努めるとともに、ボランティア同士のネットワークを広げ、交流の輪を広げる。
 - ◇ボランティアセンター運営委員会の開催
 - ◇ボランティアグループ連絡会の開催
 - ◇ボランティア出前活動等の需給調整
 - ◇ロビーコンサートの開催

② 地域福祉の推進

- 福祉委員活動の拡充に努め、福祉ニーズの発見システムの構築を目指す。
 - ◇福祉委員会の開催
 - ◇福祉委員への情報提供、相談体制の強化
- 自治会への聴取り等により、地域の生活課題に住民自らが協働して助け合える体制づくりを支援する。
 - ◇地域福祉推進連絡会の開催
 - ◇自治会への助成金の交付
- 住民に分かりやすい情報を発信し、ボランティア活動の啓発と福祉意識の醸成を図る。
 - ◇ホームページの運営
 - ◇社協だより・ボランティア通信の発行
- 「スマイルフェスタinかいた」を開催し、人・関係団体・企業のつながりを広げ連帯を強化するとともに、福祉・ボランティアのイベントとして充実を図る。
- 「社協オークション」を開催し、各家庭で眠っている品物を有効活用し、廃棄物を削減するとともに、社協の自主財源確保に努める。

(3) 社協基盤の整備

- 法令を順守した、適正な社会福祉法人の運営
- 事業運営体制の充実
- 被災者生活サポートボラネット委員やボランティアセンター運営委員を中心とした災害支援活動体制の充実
 - ◇被災者生活サポートボラネット推進会議の開催
- ◇災害ボランティア事前登録制度導入
 - ◇町防災訓練への参画
- 職員に対する研修の実施
- ○ 海田町社協活動紹介冊子の作成・配布
- 共同募金事業及び日本赤十字社事業への協力

(4) 海田町福祉センターの管理運営

指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

- 新型コロナウイルスに対し、入館者への検温や手指消毒・トイレ消毒の配備、定期的な換気、利用人数制限等により感染予防を徹底し、利用者の安心・安全に配慮する。
- ホームページ等によるタイムリーな情報を発信するとともに、施設見学の受入れに関して、バリアフリーの理解と福祉意識の醸成に努める。
- 福祉センターまつりを開催し、高齢者の生きがいづくりや交流の輪を広げることにより、施設の効果的な利用促進につなげる。
- 自主講座への支援やさわやか大学の開催により、主体性を持った活動の推進や健康寿命の延伸、フレイル予防の対策を充実する。
- 健康増進プールや筋力向上トレーニングルームの利用を促進し、利用者の転倒予防や健康増進の充実を図る。
- 高齢者活動ポイント事業（町新規事業）の対象施設として、介護予防や健康づくりを支援する。
- ゴーヤで緑のカーテンをつくり、1シーズンの総重量を当てるクイズを行うことにより、利用者の連帯感を深める。

令和4年度 海田町社会福祉協議会事業一覧(案)

No. 1

【センター】

事業名	実施(サービス)内容	実施(利用)回数等	参加(利用)料	財源
ボランティアセンター 対象者 ・ボランティアをしたい方 ・困っていて助けてほしい方	ボランティア活動(個人・団体)の調整, グループ育成, 情報提供 レク用品の貸出等を行います。	社協で随時相談	原則無料 (実費負担が必要な場合あり)	補助
障害者相談支援センター 障がいがある方 またはその家族等	障がいに関するさまざまな相談に応じるとともに, サービスを利用するための計画を作成します。	随時相談対応	原則無料 (実費負担が必要な場合あり)	受託

【講座】

事業名	実施(サービス)内容	実施(利用)回数等	参加(利用)料	財源
ボランティア人間塾 ボランティアに興味がある方	ボランティア育成のため, 防災・障がい等をテーマとした講座を開催します。	5~2月 全7回 【福祉センター】	200円/年(保険料含) (無料コースあり)	補助
ボランティア人間塾(しあわせ探検コース) 小学4~6年生の児童	優しい心を育てるため, 児童を対象とした福祉講座を開催します。	年1回 ※夏休み期間中 【福祉センター】	無料	補助
さわやか大学 60歳以上の方	知識習得, 健康増進, 社会参加, 福祉の担い手の育成を目的に高齢者大学を開校します。	毎月第2水曜日 【福祉センター】	200円/年(保険料含)	指定
手話奉仕員養成講座 手話奉仕員派遣事業に登録して頂ける方	聴覚障がい者支援のため, 手話奉仕員として活動する方を養成する講座を開催します。	7月~12月の18回 【福祉センター】	テキスト代	受託
教養健康講座 60歳以上の方	さまざまな分野での教養向上及び健康維持を目的に開催します。 (スマホ, 料理, カービング等)	4回×6講座 【福祉センター】	実費	指定
水中健康教室 65歳以上の方	介護予防を目的として, プールを活用した水中教室を開催します。	12回×4クール 【福祉センター】	1クール 1,000円	受託
世代間交流事業 小学生または60歳以上	高齢者と子供と一緒に講座で学ぶことで世代間の交流を図ります。 (しめ縄づくり, スイーツづくり等)	年2回 【福祉センター】	実費	指定
公開医療講座 住民全体	健康や疾病予防についての知識を深めることを目的にマツダ病院医師等による講演会を開催します。	年1回 【福祉センター】	無料	自主

【各種事業】

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
対象者 法人後見事業 ※R4は準備予定 認知症、知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方	本人の状況の見守り、必要な契約や費用の支払い、財産の管理等を行います。（補助・保佐・後見）	社協で随時相談	後見人等への報酬（金額は家裁が決定） 申立費用は別途必要	自主
福祉サービス利用援助事業(かけはし) 認知症、知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方	福祉サービスの利用手続きや金銭の出し入れ、通帳預かり等の支援を行います。	社協で随時相談	訪問（1,500円/回） 預かり（1,500円/月）	県社
気ばらし会(介護者の集い) 高齢者等を介護している方	介護者同士がリフレッシュし、情報交換ができる場を開きます。（勉強会・座談会・施設見学等）	毎月第1金曜日 【福祉センター】	無料 ※実費は要負担	自主
社協オークション 住民全体	住民から提供いただいた休眠品をオークション形式で販売し、福祉活動資金等に活用します。	年1回 【福祉センター】	見学は無料 入札は実費	自主
おひる&よるのコンサート 住民全体	福祉センターの有効活用や利用者の憩いの場を提供するため、ロビーコンサートを実施します。	年8回程度 【福祉センター】	無料	自主
手作り弁当交流会 70歳以上の一人暮らしの方	海田高校生の手作り弁当を困りで、世代間のふれあい交流を行います。	年1回（2日間）	無料	自主

【福祉サービス】

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
介護器具貸出サービス ・在宅介護を必要とする高齢者 ・障がい等により器具が必要な方	高齢者等が自立した生活を送れるよう、介護器具を貸出します。（車イス、杖、四輪歩行車等）	貸出期間は1年間で延長も可（延長申請が必要）	消毒料として 550円/回	自主
福祉車両貸出サービス 通常バスやタクシーの利用が困難な方（運転者同時登録）	公共交通機関を利用することが困難な方を対象として、通院や社会参加を促すため、福祉車両を貸し出します。	月3回まで 1回につき2日以内	使用した燃料代（燃料は満タンにして返却）	自主
訪問理美容サービス ①65歳以上の一人暮らしの方 ②65歳以上のみの世帯 ③身障者手帳所持者 ④要支援者及び要介護者	理美容院を利用することが困難な方を対象に、理美容師が自宅を訪問し、散髪を行います。	年4回まで	①②③1,000円/回 ④1,500円/回	受託
寝具洗濯乾燥消毒サービス ・65歳以上の一人暮らしの方 ・65歳以上のみの世帯 ・要支援者及び要介護者	高齢者が衛生的に寝具を使用できるように、寝具の洗濯・乾燥・消毒サービスを行います。	年2回まで 1回につき3枚まで（1種類2枚まで）	掛布団 300円 敷布団 300円 毛布 50円	受託

【相談】

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
対象者				
心配ごと相談	日常生活のあらゆる困りごとの相談に応じます。	毎週木曜日 相談員は民生委員・司法書士他	無料	補助
福祉なんでも相談	日常生活のあらゆる困りごとの相談に応じます。	平日（月～金曜日）	無料	補助
健康相談	町民が健康を維持できるよう保健師等による個別健康相談、血圧測定、検尿等を行います。	毎月第2火曜日	無料	指定

【まついイベント】

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
対象者				
スマイルフェスタinかいち	ボランティア、医療、健康の普及啓発及び地域交流を図るため、福祉イベントを開催します。	11月上旬		補助 共募
福祉センターまつい	福祉センターの自主講座生が主体となり、日ごろの成果を発表するイベントを開催します。	10月上旬		指定

【出前】

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
対象者				
福祉授業出前	高齢者への配慮や障がいの理解を深めるため、ボランティアが出前授業を行います。	随時相談対応	無料	自主
ふれあい上映会出前	いきいきサロンなど地域への出前で映画やアニメ等の上映を行います。	随時相談対応	無料	自主
サンタプレゼント事業	保護者等から事前に預かったプレゼントを、サンボランティアがイベント等で渡します。	12月	無料	自主

【広報】

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
対象者				
社協だより(ボランティア関係含む)	住民への啓発を目的として、福祉やボランティアに関する情報を掲載した広報紙を発行します。	年6回 奇数月全戸配布	無料	補助 共募 自主
ホームページ発信	住民への啓発を目的として、社協等に関するタイムリーな情報を随時発信します。	随時	無料	指定 共募

【資金貸付・給付等】

No. 4

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
対象者				
生活福祉資金貸付	資金の貸し付けと必要な援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図ります。	社協で随時相談	対象により異なる	県社
低所得世帯，障がい者世帯，高齢者世帯等				
臨時特例つなぎ資金の貸付	自立した生活を支援するため、当面の生活費の貸し付けを行います。	社協で随時相談	無利子	県社
住居のない離職者				
善意貸付	現に生活に困窮した方へ資金の貸し付けを行い、自立生活の助長促進を図ります。	役場で随時相談 (社会福祉課)	無利子	自主
低所得者等				
高額療養費の貸付	療養の確保のため、資金の貸し付けを行い、自立生活の助長促進を図ります。	社協で随時相談	無利子	自主
低所得者等				
法外保護	近隣の福祉事務所があるJR駅までの切符代金と同額の現金を給付し援護します。	社協で随時相談		補助
行旅者				
緊急一時食品提供事業	食べるものがなく一時的に生活に困っている人へ食品を提供し、生活の自立助長を図ります。	社協で随時相談		自主
生活困窮者				
交通通児就学奨励金給付事業	対象となる方へ奨励金を給付し、生活の自立助長を図ります。	社協で随時相談		自主
交通通児				

【福祉センター関連】

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
対象者				
健康増進プール	健康増進や介護予防を目的として温水プールを開放します。	毎日 ※利用時間制限あり (毎週水曜日を除く)	小・中・高校生 200円 18歳以上 410円	指定
4歳以上 (小3以下は保護者の入水必要)				
筋力向上トレーニングルーム	転倒予防や筋力向上を目的としてトレーニングルームを開放します。	毎日 ※利用時間制限あり	無料	指定
町内在住20歳以上				
福祉センター自主講座	手芸，絵手紙，書道，カラオケ，卓球，体操等，現在25サークルが活動しています。	通年	講座によっては年会費が必要	指定
60歳以上の方				
福祉センター緑のカーテン	冷房費の削減や地球温暖化防止に加え，植えたゴーヤを使い投票イベントを行います。	年1回	投票は無料 当選者には次年度のゴーヤをプレゼント	自主
住民全体				

【助成事業】

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
対象者				
自治会助成	自治会での福祉目的の事業に対し、助成金を交付します。	6～8月申請 9月助成		自主
各自治会				
ふれあいいきいきサロン助成	自治会単位で社会参加と交流の場をつくり、地域福祉活動の促進を図ることを支援します。	4月申請・6月助成 (年6回以上開催)		自主 共募
各自治会				
見守り訪問活動助成	自治会での見守りネットワーク活動の促進を支援します。	4月申請・6月助成 (週2回程度の見守り)		自主 共募
各自治会				
福祉団体助成	町内の福祉団体に対し、福祉目的の事業に活用する助成金を交付します。			自主
民生委員児童委員協議会、障害児(者)父母の会他				
福祉教育推進校事業	町立の小中学校が行う福祉目的の事業に対し、助成金を交付します。	4月申請・6月助成		共募
町内町立小中学校				

【会議】

事業名	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
対象者				
ボランティアセンター運営委員会	町内のボランティア活動の活性化に向けた協議や、ボランティア人間塾の企画立案等を行います。	年11回		自主
ボランティアセンター運営委員				
ボランティアグループ連絡会	社協登録ボランティアグループの情報交換や社協事業の紹介等連絡を図る会議を行います。	年6回（奇数月）		自主
ボランティアグループ代表者等				
福祉委員会	支え合いづくり等の地域福祉を推進する福祉委員を対象とした会議を開催します。	年2回		自主
福祉委員				
地域福祉推進連絡会	社協事業を地域の方々に広く周知するため、自治会長を対象とした会議を開催します。	年2回		自主
自治会長				
被災者生活サポートボラネット推進事業	被災地支援活動や災害ボランティアセンターを効率よく推進するため、会議・研修を開催します。	年1回程度		自主
被災者生活サポートボラネット推進会議委員				

【会費・募金等】

No.6

事業名 対象者	実施（サービス）内容	実施（利用）回数等	参加（利用）料	財源
社会福祉協議会会員募集 住民全体	様々な福祉活動に役立てるため、福祉活動に賛同頂ける町民の皆様へ会費募集を行います。	6月募集依頼		自主
森い羽根共同募金運動 住民全体	国民助け合い運動として、募金活動を行います。	9月募金依頼		共募
日本赤十字社会員増強運動 住民全体	国際的な人道活動や災害救護活動等、支援が必要な方々への支援として会費募集を行います。	5月募集依頼		日赤

令和4年度 社会福祉法人 海田町社会福祉協議会 資金収支予算書

(単位：千円)

勘定科目	法人運営事業	地域福祉 運営事業	在宅福祉 運営事業	共同募金 配分金事業	資金貸付事業	指定管理事業	障害者相談 支援事業	合計	前年度予算額 (当初予算)	差引増減額
収入										
大中小										
会費収入	2,480							2,480	2,480	
一般会費収入	2,200							2,200	2,200	
賛助会費収入	30							30	30	
団体会費収入	250							250	250	
寄付金収入	1,300							1,300	1,300	
寄付金収入	1,300							1,300	1,300	
経常経費補助金収入	40,359	4,141		1,766				46,266	46,410	△ 144
市区町村補助金収入	40,359	4,141						44,500	44,700	△ 200
町補助金収入	40,359	4,141						44,500	44,700	△ 200
共同募金配分金収入				1,766				1,766	1,710	△ 56
一般配分金収入				1,466				1,466	1,410	△ 56
地域福祉推進特別配分金収入				300				300	300	
受託金収入	750	322	2,204		300		3,938	7,244	7,244	270
市区町村受託金収入		322	2,204				3,938	6,464	6,094	370
町受託金収入		322	2,204				3,938	6,464	6,094	370
都道府県社協受託金収入	750				300			1,050	1,150	△ 100
県社協受託金収入	750				300			1,050	1,150	△ 100
事業収入	630							630	342	288
利用料収入	630							630	342	288
福祉サービス利用料収入	360							360	180	180
預かりサービス利用料収入	270							270	162	108
負担金収入		129						129	129	
負担金収入		129						129	129	
介認器具消費運搬負担金収入		99						99	99	
その他の事業負担金収入		30						30	30	
障害福祉サービス等事業収入										
自立支援給付費収入										
計画相談支援給付費収入										
指定管理収入										
指定管理収入										
利用料収入										
貸借利用料収入										
プール利用料収入										
受取利息配当金収入	22							22	23	
受取利息配当金収入	2							3	3	
財政調整預金受取利息配当金収入	20							20	20	
その他の収入	294					250		544	544	
受入研修費収入	45							45	45	
雑収入	249					250		499	499	
雑収入	249					250		499	499	
事業活動収入計 (1)	45,835	4,592	2,204	1,766	301	50,918	7,192	112,808	111,684	1,124

(単位：千円)

勘定科目	法人運営事業	地域福祉運営事業	在宅福祉運営事業	共同募金配分金事業	資金貸付事業	指定管理事業	障害者相談支援事業	合計	前年度予算額(当初予算)	差引増減額
支出										
大中小										
人件費支出	40,050	2,356			101	2,318	3,639	48,464	47,643	821
役員報酬支出	1,029							1,029	1,029	
職員給料支出	25,075				101			25,176	24,963	213
職員賞与支出	7,683						3,056	7,683	7,860	△177
臨時職員給与支出	432	1,986				1,949		7,423	6,983	440
法定福利費支出	5,831	370				369	583	7,153	6,808	345
事業費支出	317	1,615	2,204	80		47,194	99	51,509	51,451	58
水道光熱費支出						21,177		21,177	21,195	△18
燃料費支出	93							111	95	16
保険料支出	6	18				66	3	95	94	1
賃借料支出		60						60	82	△22
車両費支出	165							165	330	△165
搬送費支出		45						45	45	
法外搬送費		45						45	45	
諸謝金		732				348	78	1,080	1,088	△8
その他の事業消耗品費	53	126		80		462		799	868	△69
事業修繕費		99				2,881		2,881	2,638	243
介護器具消毒運搬委託費		535	2,202					99	99	
その他の委託費						22,260		24,997	24,917	80
事務費支出	3,300	1,272		326	210	1,406	200	6,714	6,518	196
福利厚生費支出	108	18				18	18	162	162	
旅費交通費支出	36	3				14	29	82	82	
研修研究費支出	80						50	130	92	38
事務消耗品費支出	333	8		20	39	198		598	611	△13
印刷製本費支出						198		198	198	
修繕費支出	100							100	100	
通信運搬費支出	398	85			58	125	101	767	676	91
会議費支出	3	8			8			19	19	
広報費支出	240	1,135		306		66		1,747	1,741	6
手数料支出	68	12			105	52	2	239	193	46
保険料支出	329	3						332	332	
賃借料支出	507					711		1,218	1,218	
租税公課支出	31					24		55	59	△4
保守料支出	60							60	88	△28
渉外費支出	300							300	300	
諸会費支出	268							268	272	△4
器具什器費	439							439	375	64
共同募金配分金事業費				1,360				1,360	1,360	
股票配分金事業費				1,360				1,360	1,360	
老人福祉活動費				1,060				1,060	1,060	
児童・青少年福祉活動費				300				300	300	

(単位：千円)

勘 定 科 目	法人運営事業	地域福祉 運営事業	在宅福祉 運営事業	共同募金 配分金事業	資金貸付事業	指定管理事業	障害者相談 支援事業	合 計	前年度予算額 (当初予算)	差引増減額
事業活動による収支										
支出										
助成金支出		2,050						2,050	2,050	
助成金支出		2,050						2,050	2,050	
老人福祉活動助成金支出		180						180	180	
障がい児者福祉活動助成金支出		50						50	50	
児童・青少年福祉活動助成金支出		70						70	70	
ひとり親福祉活動助成金支出		30						30	30	
福祉育成・援助活動助成金支出		1,480						1,480	1,480	
ボランティア活動助成金支出		240						240	240	
流動資産評価損等による資金減少額					200			200	200	
徴収不能額					200			200	200	
事業活動支出計 (2)	43,667	7,293	2,204	1,766	511	50,918	3,938	110,297	109,222	1,075
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	2,168	△ 2,701			△ 210		3,254	2,511	2,462	49
収入										
施設整備等寄付金収入	1,000							1,000	1,000	
施設整備等寄付金収入	1,000							1,000	1,000	
施設整備等収入計 (4)	1,000							1,000	1,000	
固定資産取得支出	1,000							1,000	1,000	
器具及び備品取得支出	1,000							1,000	1,000	
施設整備等支出計 (5)	1,000							1,000	1,000	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)										
収入										
長期貸付金回収収入					7,400			7,400	7,400	
長期貸付金回収収入					7,400			7,400	7,400	
高額療養費貸付金回収収入					5,000			5,000	5,000	
善意銀行貸付金回収収入					2,400			2,400	2,400	
拠点区分間繰入金収入	3,254	2,701			210			6,165	5,749	416
拠点区分間繰入金収入	3,254	2,701			210			6,165	5,749	416
サービスク区分間繰入金収入	429							429	429	
サービスク区分間繰入金収入	429							429	429	
その他の活動収入計 (7)	3,683	2,701			7,610			13,994	13,578	416
長期貸付金支出	2,168				7,400			7,400	7,400	
長期貸付金支出					7,400			7,400	7,400	
高額療養費貸付金支出					5,000			5,000	5,000	
善意銀行貸付金支出					2,400			2,400	2,400	
積立資産支出	159							159	159	
退繕給付引当資産支出	159							159	159	
拠点区分間繰入金支出	2,911						3,254	6,165	5,749	416
拠点区分間繰入金支出	2,911						3,254	6,165	5,749	416
サービスク区分間繰入金支出	429							429	429	
サービスク区分間繰入金支出	429							429	429	
その他の活動による支出	2,352							2,352	2,303	49
退職手当積立基金預け金支出	2,352							2,352	2,303	49
その他の活動支出計 (8)	5,851				7,400		3,254	16,505	16,040	465
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 2,168	2,701			210		△ 3,254	△ 2,511	△ 2,462	49
予備費支出 (10)					0			0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

